2025 年日本国際博覧会関連活動の連携基盤構築事業の企画・運営業務
事業者選定結果について

本事業について、公募型プロポーザル方式により事業者を募集し、下記のとおり最優秀提案事業者（契約候補者）を選定しましたので、お知らせします。

１．選定手法
事業者（７者）から提案のあった内容について３名の選定委員による審査を行い、最優秀提案事業者（契約候補者）を選定いたしました。なお、審査にあたっては、2026 年 10 月 20 日に事業予定者選定委員会を開催し、選定委員による採点（100 点満点）を行いました。

２．選定結果
最優秀提案事業者（契約候補者）
・電通プロモーション・電通共同企業体
（代表構成員：株式会社電通プロモーション　関西支社）
評価点 77.7 点（提案金額 税込 118,968,164 円）

３．提案事業者（五十音順）
・J コミ・NTA 共同企業体
（代表構成員：株式会社 JR 西日本コミュニケーションズ）
・株式会社セレスポ　大阪支店
・大広・大広 WEDO 共同企業体（代表構成員：株式会社大広）
・大日本印刷株式会社
・電通プロモーション・電通共同企業体
（代表構成員：株式会社電通プロモーション 関西支社）
・株式会社博報堂
・ぴあ株式会社

４．評価点（点数順、100 点満点）
①　77.7 点　※再掲
②　76.3 点
③　75.0 点
④　73.3 点
⑤　72.3 点
⑥　68.7 点
⑦　63.3 点

５．最優秀提案事業者（契約候補者）の選定理由（講評）
・ミャクミャクを活用した情報発信や、万博レガシーを可視化する取組など、万博関連活動の情報を集約・発信するための具体的な提案が盛り込まれている。

・国内向けの情報発信にとどまらず、多言語対応など海外への発信も意識されており、今後の国際的な交流・連携も視野に入れた、万博の成果やレガシーの国内外への展開につながる提案となっている。
・連携基盤事務局として、万博関連活動に関する問い合わせへの対応や、関係者との連絡調整、情報の整理・発信等を行うための運営体制が示されており、本事業を継続的かつ円滑に運営することが期待できる。
・全国各地で行われている万博関連活動については、関係者からの問い合わせや情報提供を待つだけでなく、関係団体・自治体・企業等との連携を通じて、受託者自ら積極的に情報を収集し、活動の発掘・把握に努めることが重要である。今後の事業実施にあたっては、関係者を幅広く巻き込みながら、各地の活動を能動的に掘り起こし、情報を集約・発信する取組にも注力されたい。

6．選定委員会委員（五十音順、敬称略）

氏名	所属・役職	選任理由
楠本 淳	株式会社バスコム　代表	広告、広報、イベント等のプロモーションなどへの深い知見と実績から、提案内容の有効性、広報・ブランド展開の方策の実現性を審査いただくため。
武田 家明	経済産業省 近畿経済産業局長	「2025 年大阪・関西万博 成果検証委員会」を所管する経済産業省の立場から、提案内容の有効性、大阪・関西万博のレガシー展開にかかる実現性を審査いただくため。
橋場 浩	大阪観光局 営業担当部長	様々なイベントの集約や参加者間の調整などへの深い知見と実績から、提案内容の有効性、万博で創られた「つながり」の拡大・発展にかかる方策の実現性を審査いただくため。

以上